

平成 29 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ 語学・大学留学コース

「アメリカの師走」

皆様こんにちは。時が経つのは早いもので、2017 年最後のレポートとなりました。今月は期末試験、クリスマスと慌ただしい日々でした。そして、こちらでは厳しい冬の寒さを感じています。最低気温が 0 度を下回る日が多く、最高気温がマイナス 12 度、最低気温がマイナス 20 度の日もありました。外は寒いですが、建物の中はとても暖かく快適に過ごしています。

今回は期末試験の様子とクリスマスについてお伝えします。

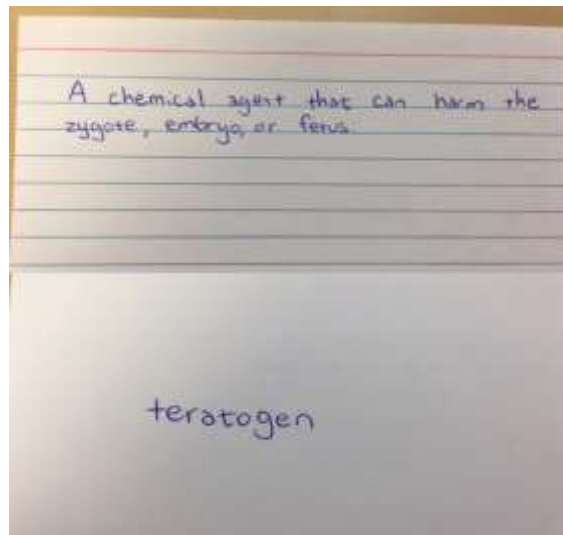
—期末試験—

大きな祝日であるクリスマスを迎える前に秋学期の期末試験があります。そのため、多くの学生が図書館などで勉強をしていました。通常、図書館は夜中の 12 時まで開いていますが、期末試験準備期間からは夜中の 2 時まで開いています。図書館の一角には毎日 24 時間開いている部屋があり、図書館が閉まったあともその部屋に行き、勉強をしている学生も多くいました。アメリカでは夜中でも図書館で熱心に勉強する学生が多いと感じました。グループルームという部屋を使ってグループで勉強している姿も見受けられました。私もよくグループルームを使い、同じ科目を履修している友達とテスト勉強をしたり、プレゼンテーションの準備をしたりします。グループルームの利点はホワイトボードがあるところや周りを気にせずに話すことができることです。日本語を専攻しているアメリカ人学生の友達も多いため、日本語や日本文化を教えたりレポートを手伝ってもらったりしています。



24 時間開いている Guyer Room

私が今学期特に苦労した科目は心理学です。レポートの課題が3つ、テストは期末試験を含めて3つありました。体の働きや脳の部位などの専門用語を英語で覚えることが難しかったです。テストの前には、ノートカードと呼ばれる単語帳を使って用語を覚えました。表に覚えるべき単語の定義、裏にその単語を書いて勉強をします。



試験のために作成したノートカード(表・裏)

—クリスマス—

期末試験も終わり、冬休みを迎えました。私は冬休みの間、高校生の時にアメリカでホームステイをした当時のホストシスターの旦那さんの実家にお邪魔し、その家族とクリスマスを過ごしました。今回お邪魔した家庭は敬虔なキリスト教徒です。毎週日曜日と水曜日に教会に行きます。教会では聖書を輪読してその内容について話し合います。私はその教会には初めて行きましたが、教会の方々はとてもあたたかい雰囲気私を迎えてくれました。

クリスマスイブには親戚一同が集まって、プレゼント交換やゲームを楽しみました。年齢の低い人、もしくは高い人から順番に一つずつプレゼントを開けていき、どんなプレゼントをもらったのかをみんなの前で公表します。私のプレゼントも用意してくださっていて、とても嬉しかったです。アメリカのプレゼントで1番驚いたことは、自分でラッピングをするということです。日本では、プレゼントの品を買うときにはお店の人がラッピングをしてくれます。しかし、アメリカでは筒状のラッピングペー

パーを買い、それを使って自分でラッピングをします。クリスマスプレゼントのお返しに、私もプレゼントを買い、ラッピングをしてみました。きれいな形を作るのは思ったより難しかったですが、私のラッピングを見守っていたホストシスターは「プレゼントが隠れていれば大丈夫だよ。」と言ってくれました。アメリカの人はプレゼントを開けるときに包装紙をビリビリに破きます。そのことは知っていたのですが、私がラッピングしたプレゼントをビリビリに破いて開ける姿を見たときには、「せっかくラッピングしたのにな・・・。」と少し心が痛みました。

クリスマスで驚いたことがもう1つあります。それは、クリスマスの日には休業するお店が多いことです。スーパーマーケットやファストフード店など多くの店が休業になります。KFC（ケンタッキー・フライド・チキン）もクリスマスの日には休業です。日本では、クリスマスにKFCでチキンを買って食べる人もいますが、アメリカではそうではないようです。アメリカでその話をすると多くの人が驚きます。普段の日本で私の「当たり前」が「当たり前」でないことを知り、文化の違いを感じています。



教会にて。
タンブラーをはじめとするウェルカム・ギフトをいただきました。



いただいたプレゼントの一部。
ラッピングは自分で行います。